

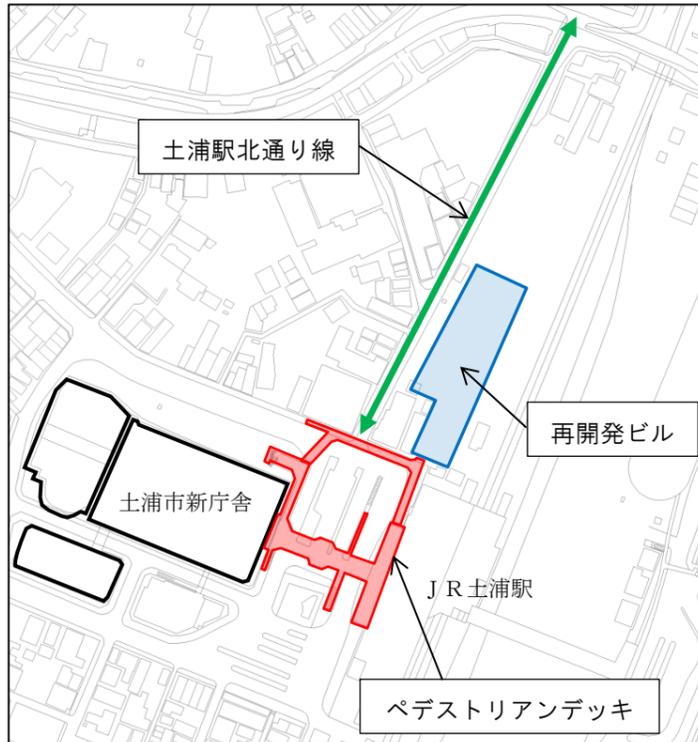
●土浦駅周辺地区の整備方針

土浦駅周辺地区においては、土地利用の有効活用を図るため、都市機能の再配置・整備や低・未利用地における再開発事業等、関連都市基盤の再整備が進められており、新たな都市機能の集積や居住環境、商業業務環境の向上により、輝きと賑わいのある中心地への再生を目指しています。

●市街地の整備改善の必要性

土浦駅前北地区は、土浦市の玄関口でありながら低・未利用地が多く、市の中心部としての活力や求心力が低下しています。そこで、図書館を核とした公益施設及び業務・サービス機能を備えた再開発ビルを建設し、併せて前面の土浦駅北通り線やペDESTリアンデッキの整備を実施することにより、都市機能の更新を図ります。

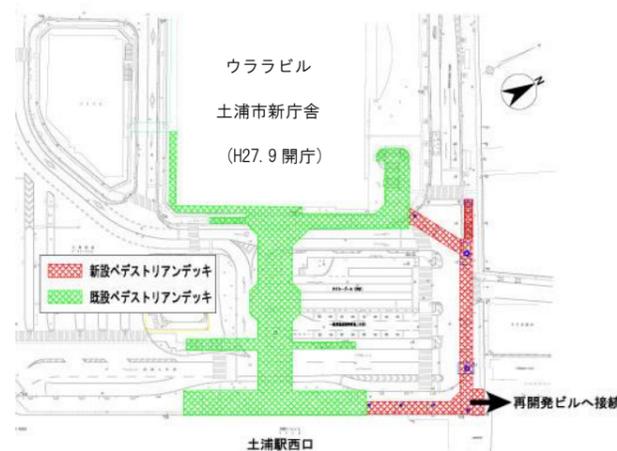
【事業箇所図】



【現況写真】



土浦駅西口ペDESTリアンデッキ整備事業



現在の土浦駅西口ペDESTリアンデッキ^{※1}は、ウララビル建設（土浦駅前地区第一種市街地再開発事業^{※2}）にあわせて整備されました。

この土浦駅とウララビルを結ぶ現在のペDESTリアンデッキを、土浦駅西口から土浦駅前北地区の再開発ビルへ延伸し、さらに土浦駅北通り線を渡り再びウララビルに接続し口の字型に整備することにより、来街者の回遊性向上と歩車分離による安全性の向上を図ります。

また、既設・新設ペDESTリアンデッキには共に上部に屋根を設置し、更なる利便性の向上を目指します。

※1 高架等によって車道から立体的に分離された歩行者専用通路のこと。

※2 土浦駅前地区市街地再開発組合により施行された市街地再開発事業（平成9年完了）。

土浦駅前北地区第一種市街地再開発事業

●再開発ビル



土浦駅前にふさわしい都市景観を形成し、土地の有効活用と高度利用を図るとともに、駅前の利便性・認知度を活かし集客力のある公益施設及びサービス施設を集積させることにより、昼間人口の拡大と、中心市街地の賑わいの向上を目指します。

導入施設と整備方針については以下のとおりです。

●公益施設

○図書館〈2F～4F〉

市の中央図書館としてふさわしい機能を満たしつつ、中心市街地の活性化を担う駅前図書館として、大勢の市民に親しまれ、利用される図書館を目指します。特に、駅と直結する利便性を活かし、通勤・通学客が立ち寄りやすい環境と、新庁舎・県南生涯学習センターとデッキでつながる利便性を活かした連携の取れる施設とします。また、本のある読書サロンとして、快適な環境の中で長時間滞在できる魅力的読書空間をつくります。

○ギャラリー〈1F〉

本市にゆかりのある美術品の展示の場として、また、市民の芸術文化活動の発表の場として、「市民に開かれた芸術文化の活動の拠点」となる本市で初めての本格的なギャラリーとします。市の収蔵美術品の展示や貸しギャラリー・市展の開催・ワークショップ等多目的に対応可能な施設とし、大勢の人が集まり賑わう、芸術文化をテーマとした交流スペースとして整備します。

●民間施設

○業務店舗〈1F・2F〉

駅前の交流人口の増加と、商業活性化を促します。ペDESTリアンデッキ直結と図書館との連携による高い集客力を活かした環境とし、魅力的な施設づくりを目指します。

《施設概要》

- ・計画地 土浦市大和町の一部（建築敷地面積約5,023㎡）
- ・建物規模 建築面積：約4,080㎡
延床面積：約13,260㎡（施設棟：約10,390㎡、駐車場棟：約2,870㎡）
- ・施設棟：地上4階（鉄骨造 高さ約27.5m）
- ・駐車場棟：3層4段（鉄骨造 高さ約13.5m）

●土浦駅北通り線

再開発ビルに隣接する土浦駅北通り線の拡幅整備及び無電柱化を実施することで、土浦駅前にふさわしい景観・交通環境を整備し、円滑な交通導線と安心安全な歩行空間の確保を目指します。

スケジュール

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
再開発ビル建築工事	実施設計	権利変換	工事	図書館オープン
駅北通り線整備工事	設計及び支障物件移設		工事	工事完了
ペDESTリアンデッキ整備工事	実施設計	工事		工事完了

